教文館　新刊案内　　9月24日発売予定

子ども、本、祈り

斎藤惇夫 著

ISBN 978-4-7642-6155-6 C0095
四六判・並製・276頁　定価1,650円（本体1,500円＋税）

コロナ禍にある今こそ、絵本と物語を通して
子どもたちに〈生きる歓び〉を！
大人の方たちには〈魂の活力〉を！

児童書編集者から作家となった著者が、
喜寿目前にキリスト教幼稚園の園長に！
園児たちと本気で遊ぶ日常生活の記録、祈りの詩、
子どもと絵本・物語について語った連載をまとめる
著者初のエッセイ集。

撮影・田中雅之

●**著者**　**斎藤惇夫**（さいとう・あつお）●
1940年新潟市生まれ、立教大学法学部卒業。福音館書店の編集者として子どもの本の編集に長く携わった後、2000年より作家活動に専念。講演や著作を通して子どもの本のあゆみを伝えながら、子どもたちに本を読んでやることの大切さ、選書の大切さを訴え続けている。また、河合隼雄氏を継いで「児童文学ファンタジー大賞」選考委員長を務める。2017年4月より、日本聖公会浦和諸聖徒教会を母体とする麗和幼稚園園長。
●**著作**　『グリックの冒険』、『冒険者たち―ガンバと15ひきの仲間』『ガンバとカワウソの冒険』『哲夫の春休み』（すべて岩波書店）、『河童のユウタの冒険』（福音館書店）ほか、講演録『わたしはなぜファンタジーに向かうのか』（教文館）など。

〈目次と内容〉

I　子どもたちの息吹に触れながら
　――オリエンス宗教研究所「こじか」連載ほか、19篇
II　今日の祈り
　――『おいで子どもたち』（日本聖公会）ほか、5篇
III　愛書探訪
　――読売新聞連載ほか、21篇の読書案内
IV　子どもを本の世界に導くために
　――福音館書店「母の友」連載より11篇＋1篇